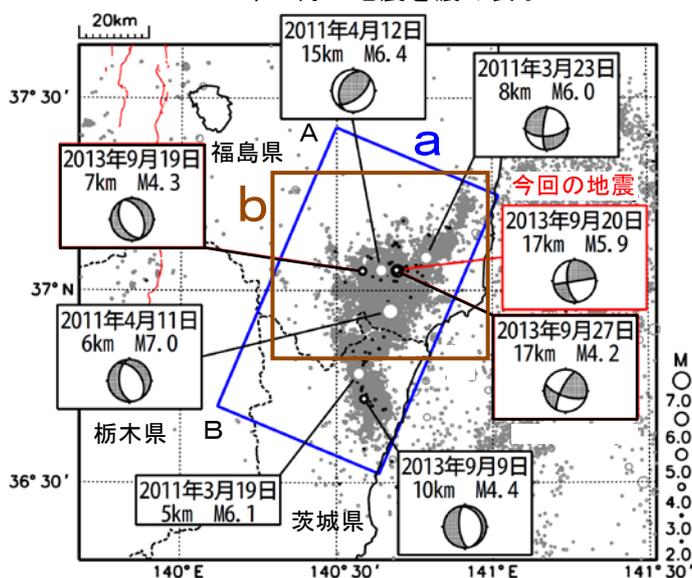


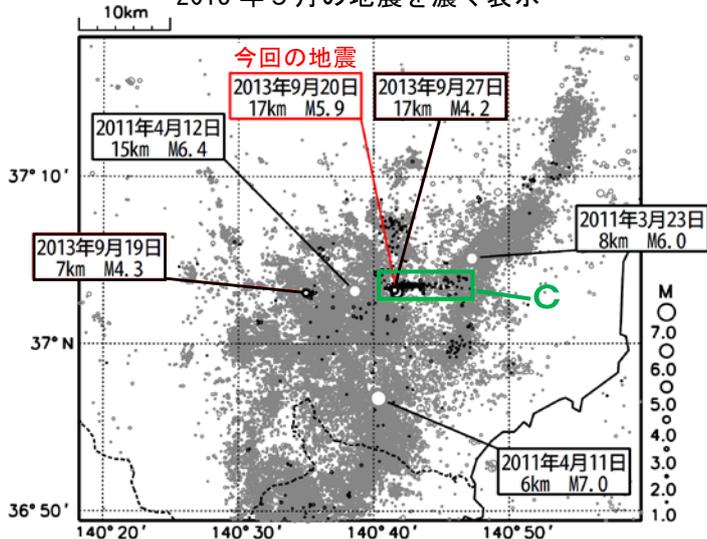
9月20日 福島県浜通りの地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2013年9月30日、
深さ0～30km、M≥2.0)
2013年9月の地震を濃く表示

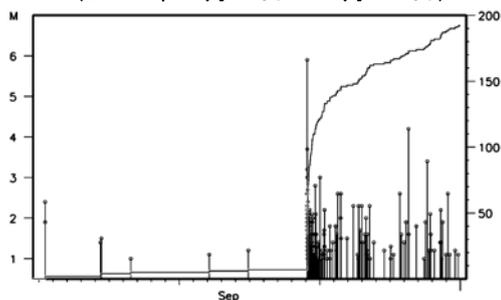


震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を示す

領域b内の震央分布図※
(2011年1月1日～2013年9月30日、
深さ0～30km、M≥1.0)
2013年9月の地震を濃く表示



領域c内のM-T図および回数積算図
(2013年9月1日～9月30日)

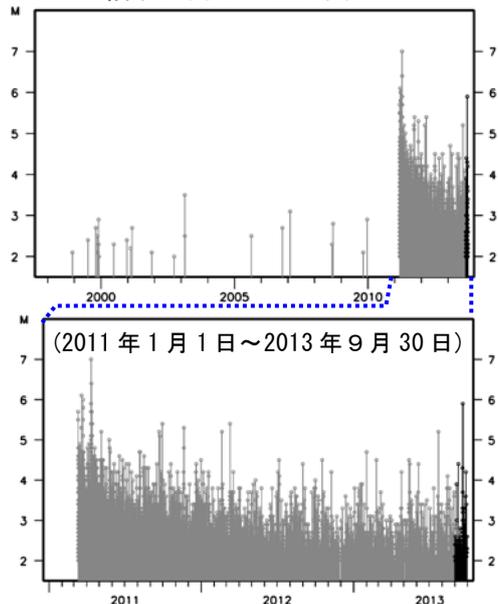


2013年9月20日02時25分に福島県浜通りの深さ17kmでM5.9の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、負傷者2人、住家一部破損2棟の被害が生じた(総務省消防庁による)。この後、この地震の震源付近(領域c)では、27日にM4.2の地震(深さ17km、最大震度3、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型)が発生するなど、30日までに震度1以上を観測する地震が6回発生した。

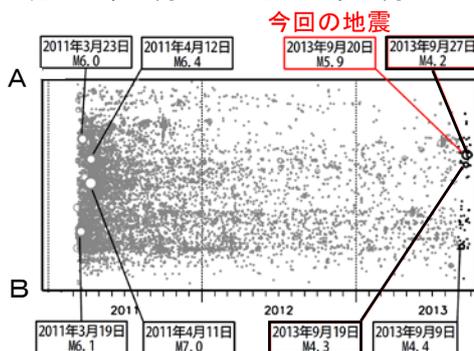
なお、19日07時44分に福島県中通り(情報発表に用いた震央地名は「福島県浜通り」)の深さ7kmでM4.3の地震(最大震度3)が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域a)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後、地震活動が活発化したが、領域a内の地震活動は、全体として低下してきている。

領域a内のM-T図※



領域a内の時空間分布図(A-B投影)※
(2011年1月1日～2013年9月30日)



※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。